

目標達成計画

作成日 : 平成 29年 6月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	大規模な地震、津波に対しては、現実的に有効な対策をとれない。	可能な範囲で最善の対策を確実に実行できるようにする。	水、食料の備蓄状況の確認 非常時の連絡体制の確認(事業所 職員 利用者 家族など) 現実的な避難計画の策定(利用者 職員の安全を図る) 事業所独自の避難訓練を実施する。	6ヶ月
2	13	職員の定着は改善しているが、レベルアップを目指して能力向上を図る必要がある。	個々の職員の力量に応じて介護力が向上するようにする。	引き続き内部研修、外部研修を充実させ、資格試験に一定の補助を行う。	3ヶ月
3	2	必ずしも事業所が地域に溶け込んでいるとは言えない。	気軽に日常の挨拶や雑談ができる関係を作る。	散歩、玄関の掃除や花壇の手入れの際に近所の人に出会ったら挨拶を欠かさない。近くにある保育園との交流を働きかける。	3ヶ月
4	19	あまり面会に来ない、ご家族もあり、配達が必要な面もある。	ご家族とともに利用者を支えている関係を強化する。	ご家族に写真を同封した近況報告をする。 イベントにご参加をすすめる。	6ヶ月
5	34	容体の急変や事故への対応について更に技術を向上させる必要がある。	職員全員が、容体の急変や事故の対応を適切にできる。	研修や資料の提供を充実させる。 ケースを想定した演習を実施する。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。